

(一社) 山口県サッカー協会 3級昇級競技規則テスト【対策問題：解答】

1. 下記の文章の空欄に当てはまる言葉または数値を書き入れなさい。

【第1条：競技のフィールド】

- すべての（ **ライン** ）の（ **幅** ）は同じで、（ **12** ）cmを超えてはならない。
- （ **コーナーエリア** ）は、それぞれのコーナーフラッグポストから、半径（ **1** ）mの（ **四分円** ）をフィールド内に描いて規定される。
- 各コーナーには（ **旗をつけた** ）先端のとがっていない高さ1.5m以上の（ **フラッグポスト** ）を立てる。
- ゴールの大きさは、ポストの間隔は（ **7.32** ）mでクロスバーの下端からグラウンドまでの距離は（ **2.44** ）mである。

【第2条：ボール】

- ボールは、（ **球形** ）、適切な材質、外周は、（ **70** ）cm以下、（ **68** ）cm以上、重さは、（ **試合開始時** ）に（ **450** ）g以下、（ **410** ）g以上、空気圧は、海面の高さの気圧で、（ **0.6** ）～（ **1.1** ）気圧

【第3条：競技者】

- 試合は、（ **11** ）人以下の競技者からなる2つのチームによって行われる。そのうち1人は（ **ゴールキーパー** ）である。いずれかのチームが（ **7** ）人未満の場合、試合は開始も（ **続行** ）もされない。

【第4条：競技者の用具】

- ソックス（ **テープ** ）またはその他の材質のものを貼り付ける、または（ **外部** ）に着用する場合、それは着用するまたは覆う部分のソックスの色と（ **同じもの** ）でなければならない。
- アンダーショーツおよびタイツは、ショーツの（ **主たる色** ）、または、ショーツの（ **裾** ）の部分と（ **同じ色** ）でなければならない。（ **同一** ）チームの競技者が着用する場合、同色のものとする。

【第5条：主審】

- 各試合は、その試合に関して（ **競技規則** ）を施行する一切の（ **権限** ）を持つ主審によって（ **コントロール** ）される。
- 決定は、主審が競技規則および（ **サッカー競技の精神** ）に従ってその能力の最大を尽くして下し、適切な措置をとるために競技規則の枠組の範囲で与えられた（ **裁量権** ）を有する主審の見解に基づくものである。
- （ **タイムキーパー** ）を務め、また試合の（ **記録** ）を取り、関係機関に審判報告書を提出する。
- 他の審判員と（ **協力** ）して試合をコントロールする。

【第6条：その他の審判員】

- その他の審判員は、競技規則に従って試合をコントロールする主審を（ **援助** ）するが、（ **最終決定** ）は常に主審によって下される。
- （ **ボール全体** ）がフィールドの外に出たときに、どちらのチームが（ **コーナーキック** ）、（ **ゴールキック** ）または（ **スローイン** ）を行うのか。
- （ **オフサイドポジション** ）にいる競技者が罰せられるとき
- 競技者の（ **交代** ）が要求されているとき
- ペナルティーキックのとき、ボールがけられる前にゴールキーパーがゴールラインを離れたかどうか、またボールがゴールラインを越えたかどうか

【第11条：オフサイド】

- 味方競技者が（ **パス** ）した、または、触れたボールをプレーする、または触れることによってプレーを（ **妨害** ）する。
- 明らかに相手競技者の（ **視線** ）を遮ることによって、相手競技者がボールへプレーする、または、プレーする可能性を妨げる。
- （ **セーブ** ）とは、ゴールに入りそうな、またはゴールに近づいたボールを、競技者が（ **手** ）または（ **腕** ）（ペナルティーエリア内にいるゴールキーパーの場合を除く）以外の体のいずれかの部分を用いて（ **止める** ）ことを意味する。
- 競技者が次のことからボールを直接受けたとき、オフサイドの反則にはならない。
（ **ゴールキック** ）・（ **スローイン** ）・（ **コーナーキック** ）

【第12条：ファウルと不正行為】

- 不用意とは、競技者が相手に挑むとき（ **注意** ）や（ **配慮** ）が欠けていると判断される、または、慎重さを欠いてプレーを行うことである。懲戒処置は（ **必要ない** ）。
- （ **無謀** ）とは、相手競技者が危険にさらされていることを（ **無視** ）して、または、結果的に（ **危険** ）となるプレーを行うことであり、このようにプレーする競技者は、（ **警告** ）されなければならない。
- （ **過剰な力** ）とは、競技者が（ **必要以上の力** ）を用いて相手競技者の（ **安全** ）を危険にさらすことであり、このようにプレーする競技者には（ **退場** ）が命じられなければならない。

警告となる6項目の反則

- プレーの（ **再開** ）を遅らせる。
- 言葉または行動により（ **異議** ）を示す。
- 主審の承認を得ず、フィールドに（ **入ったり** ）、（ **復帰したり** ）、意図的にフィールドから（ **離れる** ）。
- コーナーキック、フリーキック、またはスローインでプレーが再開されるときに（ **規定の距離** ）を守らない。
- （ **繰り返し** ）競技規則に違反する。（明確な回数や違反のパターンはない）
- （ **反スポーツ的行為** ）を犯す。

退場となる7項目の反則

- 意図的にボールを手または腕で扱い、相手チームの得点または決定的な得点の機会を（ **阻止** ）する。
（自分たちのペナルティーエリア内にいるゴールキーパーを除く）
- フリーキックで罰せられる反則で、（ **ゴール** ）に向かっている相手競技者の決定的な得点の機会を阻止する。
- （ **著しく** ）不正なプレーを犯す。
- 相手競技者またはその他の者に（ **つば** ）を吐く。
- （ **乱暴** ）な行為を犯す。
- 攻撃的な、侮辱的な、または下品な発言や身振りをする。
- 同じ試合の中で（ **二** ）つ目の警告を受ける。

2. 次のプレーについての主審として取るべき処置と再開方法で正しい記号に○をしなさい。

(1) 間接フリーキックが他の競技者に触れずに直接相手ゴールに入った。

(主審は間接フリーキックを示すために、片手をあげていた)

ア. 得点を認め、キックオフで試合を再開する。

イ. 得点を認めず、もう一度間接フリーキックで試合を再開する。

ウ. 得点を認めず、ゴールキックで試合を再開する。

(2) ゴールキックを行ったが、ペナルティーエリアからボールが出ないうちに相手競技者がボールを奪い、得点した。

ア. 得点を認め、キックオフで試合を再開する。

イ. 得点を認めず、もう一度ゴールキックで試合を再開する。

ウ. 得点を認めず、コーナーキックで試合を再開する。

(3) ゴールキーパー以外の競技者が自陣のペナルティーエリア内ですね当てを持って立ち、ボールがゴールに入るのを防ごうとしてすね当てでボールを打った。

ア. ノーフアウルの為、試合を続けさせる。

イ. プレーを停止し、主審はペナルティーキックを与える。
すね当ては競技者の手の延長であるとみなされる。

ウ. プレーを停止し、主審はペナルティーキックを与え、得点を阻止したことによりその競技者を退場させる。すね当ては競技者の手の延長であるとみなされる。

3. 次の事象について、答えなさい。

(1) ボールがインプレー中、ゴールの後方でウォーミングアップをしている交代要員が主審の承認なくフィールド内へ入り、ペナルティーエリア内で相手チームの得点を(手ではなく)足で防いだ。主審の取るべき処置はなにか。

プレーを停止し、決定的な得点の機会を阻止したことにより、この交代要員にレッドカードを示し、退場を命じる。ペナルティーキックで試合を再開する。

(2) キックオフ前に「プレーできないことを命じられた」競技者の代わりに交代要員のリストから補充することは認められるか。認められるのであれば、その交代要員のリストに新たに交代要員を補充することは認められるか。

交代要員のリストからの補充は認められる。しかし、(ゴールキーパー、フィールドプレーヤーを問わず)交代要員リストに新たに交代要員を補充することは認められない。

- (3) 主審が試合の終了の笛を吹いた後、主審は副審がフラッグを振って合図をしていることに気がついた。副審は試合終了の笛が吹かれる直前に、プレーが行われているところから遠いサイドにいるゴールキーパーが自分のペナルティーエリア内で相手競技者に対して乱暴な行為を犯していたことを確認していた。主審のとるべき処置はなにか。

主審は試合の終了を取り消し、そのGKに乱暴な行為によりレッドカードを示し、退場を命じ、PKを相手チームに与える。PKが完了したところで再度、試合を終了するために笛を吹く。

- (4) ペナルティーマークからのキックで、キッカーが不正なフェイントをした場合、主審のとるべき処置はなにか。

キッカーを警告する。キックの結果に関わらず、そのキックは無効(得点なし)と記録する。

- (5) インプレー中、味方ゴールキーパーが自陣ペナルティーエリア内にいる味方競技者の顔を乱暴に打った。主審のとるべき処置はなにか。

プレーを停止し、そのGKに乱暴な行為によりレッドカードを示し、退場を命じ、PKを相手チームに与える。

- (6) 相手競技者から警告や退場にはならない程度のタックルを受けたが、競技者は負傷しピッチ内に倒れている。主審の判断でメディカルスタッフをピッチ内に呼び、負傷の程度の判断と治療がすばやく完了できるが、警告や退場を命じられるような身体的な反則のときと同様に一度ピッチ外に出ずそのままプレーを続けることが可能か？

この条項は、相手競技者が警告または退場となる反則を犯した場合にのみ適用される。したがって、相手競技者が警告または退場とならない場合、負傷した競技者はそのままプレーを続けることはできず、フィールド外に出なければならない。

- (7) ペナルティーマークからのキックを行っている間に競技者がフィールドから出ることを希望した場合、主審はどうすべきか？

キックを遅らせることなく、キックの順番までに(チームの残りの競技者全員がキックを終えるときまでに)復帰するよう、その競技者に注意しなければならない。これが守られない場合、その競技者のキックは無効(得点なし)として記録される。

- (8) 異議を受けてプレーを停止した場合、主審はどの方法でプレーを再開するか？

異議を示した競技者を罰するためにプレーを停止した場合、間接フリーキックで再開する。